

# 真狩村温暖化対策実行計画（区域施策編） 概要版

## 計画策定の背景

真狩村では、国が2050年にカーボンニュートラルを目指すことを宣言した状況などを踏まえ、令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言を発表しました。

近年の国際的な動向や国内の動向、ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、地球温暖化防止に向けて一層の対策を講じるとともに、本村が抱える多様な問題解決への対応に向けて地域一丸となって地球温暖化対策に取り組むため、温室効果ガス等の排出量削減等を推進するための総合的な計画である区域施策編を策定します。

## 真狩村のCO<sub>2</sub>排出量

本計画の基準年である2019年度の真狩村におけるCO<sub>2</sub>排出量は37,572t-CO<sub>2</sub>です。

ゼロカーボンの達成に向けて、中期目標年度の2030年度までに2019年度比33%、最終目標年度の2050年度までに2019年度比100%の削減を目標として各部門・分野での対策と施策に取り組みます。

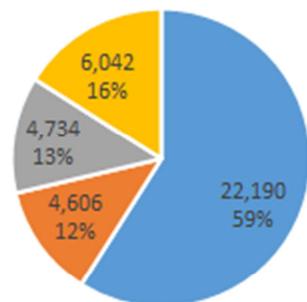
産業部門 製造業、建設・鉱業、農業など

業務その他部門 卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、役場など

家庭部門 家庭

運輸部門 運輸業（貨物自動車、旅客自動車）など

2019年度分野別CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



■ 産業部門 ■ 業務その他部門 ■ 家庭部門 ■ 運輸部門

## 対策・施策

### 【産業部門】

- ・再エネ電気熱の利用
- ・バイオ炭による炭素貯留
- ・スマート農業の推進



### 【業務部門】

- ・太陽光発電導入促進
- ・木質バイオマス熱利用
- ・ZEB化の推進
- ・温泉排湯熱活用
- ・民間施設の断熱化



### 【家庭部門】

- ・省エネ行動の推進
- ・住宅の断熱化
- ・ごみの分別・リサイクル



### 【運輸部門】

- ・次世代自動車の導入  
(ハイブリット車、電動自動車、燃料電池自動車など)



### (関連用語)

○カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロにすること

○バイオ炭

土に埋めることで収量を増やすだけでなく二酸化炭素を土壌に閉じ込める性質をもつ炭

○ZEB（ゼブ）

Net Zero Energy Buildingの略称消費するエネルギーの収支をゼロにすることを指した建物

○次世代自動車

ハイブリッド車（HV）、電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）など、走行時のCO<sub>2</sub>排出量が少ない、もしくは排出量ゼロで環境への負担が少ない車